

目指せ！未来のサイエンティスト

2019年度

千葉県未来の科学者育成プログラム

募 集 案 内



主 催
千葉県教育委員会

2019年度 千葉市未来の科学者育成プログラム 募集案内

1 趣旨

科学に高い興味・関心をもつ中学生・高校生に対し、その能力を伸ばすために質の高い学習プログラムを提供し、個人研究を支援したり、大学等研究機関や企業などが有する先端科学技術を体験させたりすることにより、未来の科学者を目指す意欲を高める。

2 対象

市内在住・在学の中学1年生～高校3年生（※コースによって対象学年は異なります。）

- ・各コースの必修の講座に、毎回参加する意欲がある者
- ・パソコンでワープロソフト等の添付ファイルを送受信できるインターネット環境があること。

〈応募される場合、ご確認くださいこと〉

- ・受講生全員に、10月頃までに個人研究の成果報告書（パソコンのワープロソフトで作成）を提出してもらいます。また、最後の成果発表会では口頭発表を行います。

3 コース・募集定員

全体募集定員60名程度

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| (1) 探究支援・市立千葉高校SSHコース | 15名程度（中学1・2・3年対象） |
| (2) 工学コース | 15名程度（中学2年～高校3年） |
| (3) 千葉大学連携コース | 15名程度（中学2年～高校3年） |
| (4) 生命・医療系コース | 15名程度（中学2年～高校3年） |

※特別受講生制度

過去に本プログラムに参加した元受講生が、本年度実施の講座の中から指定された講座に参加することができる制度があります。参加の希望がある場合は、別紙「特別受講生制度案内」を参照してください。

4 実施期間

2019年6月15日（土）～2020年1月19日（日）

5 参加費

参加費は無料です。ただし、会場までの交通費は自己負担となります。

6 申込方法

- (1) 提出書類 以下の2種類の用紙を「千葉市未来の科学者育成プログラム」ホームページから印刷することができます。必要事項をご記入の上、提出してください。

- ①応募用紙
- ・受講したいコースの希望順を番号でご記入ください。
 - ・保護者の方は、応募用紙の内容をご確認の上、ご記名・捺印（保護者の自署の場合は、捺印を省略できます）をお願いします。
- ②回答票
- ・所定の用紙の「回答1～3」についてご記入ください。

- (2) 応募方法

2種類の書類に必要事項を記入し、生涯学習振興課まで持参するか、郵送にてご提出ください。

7 応募期間

平成31年4月1日（月）～5月15日（水）必着

（ただし、5月15日（水）の段階で募集定員に満たない場合は、応募期間を延長する場合があります。）

8 選考

応募者多数の場合は、回答票をもとに受講者を選考します。なお、回答内容が同じような場合は、抽選とします。結果通知は、5月30日（木）ごろ自宅住所へ発送（郵送）します。

（結果通知が6月6日（木）を過ぎても自宅に届かない場合は、下記へお知らせください。）

9 提出先・問い合わせ先

千葉市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課 科学都市戦略班 育成プログラム担当まで
住所：〒260-8730 千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー11階
TEL：043-245-5958 FAX：043-245-5992
メール：kagaku@city.chiba.lg.jp ホームページ：[千葉市 科学者](#) 検索



コース概要



未来の科学者育成プログラム、なんかすごそうだけど、どんなことをやるッピ？

大学や研究所、科学館や博物館…。いろいろな所に行って、特別な講義や実験をたくさん行うガァ！
また、1人1つ研究を行って、発表をするガァ。専門の先生からの質問に答えたり、まるで本当の研究者になったような気分を味わえるガァ。



研究とかできるか不安だッピ…。

大丈夫ガァ！
研究のテーマを決めるところから、方法、まとめ方、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトの使い方、発表の仕方など、研究に対する支援をする講座がたくさん用意されているガァ。
1人1人、メールでの相談も随時行っているから、安心だガァ。



それならできそうだッピ☆
あとは、いろいろなコースがあるみたいだけれど、どのコースにすればいいか迷うッピ。

中学校1年生なら、探究支援・市立千葉高校SSHコースだガァ。このコースの特徴は、文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクールに指定されている市立千葉高校の先生方から直接講義を受けたり、実験を行ったりすることができることだガァ。しかも物理・生物・地学・化学・情報数学と講座があるガァ。



それは魅力的だッピ。ちなみに僕は中学2年生だけど、どんなコースが受けられるッピ？

中2！？あっ、いや、ええっと、中2から高3までなら、4コースの中から好きなコースを選べるガァ。
ちなみに、工学コースは平成30年度に新設されたコースだガァ。千葉工業大学や千葉大学、fuRoという研究室の先生方の講義を受けたり、研究室ツアーを行ったり、ロボット操作をさせてもらえたりすることもあるガァ！モノレールの技術も学べるガァ。
千葉大学連携コースは、千葉大学の様々な学部、例えば医学部、医工学フロンティアセンター、理学部、教育学部、工学部などに行って、講義を受けたり、実験をしたりすることができるガァ。
生命・医療系コースは、動物公園の園長さんや獣医師さん、また医療従事者のお話をうかがったり、研究室に行って実験をしたりするガァ。
どのコースも専門家から直接お話をうかがうことができるし、勉強になるガァ。



どれも興味があるッピ。よく考えて決めることにするッピ。

HPに昨年度の様子も載っているので、参考にするといいと思うガァ。どのコースもたくさんの経験ができるし、他のコースの講座でも選択で受講できるものもあるガァ。募集要項をよく見て、決めるといいガァ。



Q&A

※応募時によくある質問や問い合わせです。ぜひご一読ください。

よくある質問です。
参考にして下さい。



Q1 どのコースとも、全ての講座に出席しなければなりませんか。

A1 どのコースとも、必修の講座は原則参加となっています。事前に出欠予定表を提出していただきます。予定表提出後、学校行事や部活動の大会などで出席できない場合は、事前にご連絡ください。閉講式の修了証書は、研究報告書を提出した人で、必修講座を1ポイント、選択講座を0.5ポイントで計算し、総得点の70%以上になった人にお渡しする予定です。(開閉講式の日にはポイントには入りません。)
※別紙年間計画に必修講座は○、選択講座は●で表記してあります。☆は高校生選択講座です。年間計画はまだ予定です。6月頃確定します。

Q2 第1希望のコース以外のコースを受講することはありますか。

A2 全員が第1希望での受講となるようにと考えていますが、受講各コースで定員を超えた応募があった場合、第2希望以下のコースを受講していただく場合がありますので、ご承知おきください。

Q3 プログラムの最後にある成果発表会では、どのような内容を発表すればよいですか。

A3 各自の研究成果をプレゼンテーションソフトを活用し口頭発表してもらいます。例年、学校で夏休みの課題となっている自由研究や課題研究をもとに、内容をさらに深めて発表している場合が多いようです。なお、各自の研究を充実・深化させるため、特別セミナーを実施したり、研究相談も行ったりします。

Q4 ワープロソフトなどのデータの送受信はパソコンでなく、スマートフォンや携帯電話でも大丈夫ですか。

A4 講座の連絡、成果発表会用の発表データ・研究報告書のデータを送受信する場合があるため、ワープロソフトおよびプレゼンテーションソフトが使用可能な環境であれば大丈夫です。パソコンは本人所有でなくても、家の方のものでも結構です。

Q5 中学3年生なので受験を控えています。本プログラムに応募することはできますか。

A5 中学3年生も対象です。現時点で全ての講座に参加できる状況でしたら、ご応募ください。なお、受験に影響が出ないように、受験生は「成果発表会」での口頭発表を免除します。成果報告書は要提出です。(高校3年も同様)

Q6 各講座で保護者は参観することはできますか。

A6 講座によっては安全面等の配慮から人数制限があり参観できない場合もあります。参観を希望される場合は、事前にお問合せください。開講式、成果発表会、閉講式は、参観可能です。是非ご参観ください。

Q7 「探究支援・市立千葉高校SSHコース」について、もう少し詳しく教えてください。

A7 研究テーマ探し、研究の進め方、論文のまとめ方などを実験や演習を通して具体的に学びます。研究の基礎を学び、自由研究・課題研究を頑張る、市や県の科学論文展やその他のコンテストで、入賞をめざしたいと考えている人に適したコースです。また、市立千葉高校に行き、講義を受けたり、実験を行ったりします。

Q8 コースによって対象学年が違うのはどうしてですか。

A8 工学・千葉大学連携および生命・医療系コースは、多少専門的な内容を含み、物理・化学・生物・地学といった理科の学問分野をある程度理解していることが必要と考えています。

Q9 昨年度までの「未来の科学者育成プログラム」の様子や受講生の感想などを知ることができますか。

A9 昨年度までの様子は、ホームページで見ることができます。

[千葉市](#) [科学者](#) [検索](#)

Q10 年間予定表にある3月の交流会とはどのようなものですか。

A10 本年度から始まるもので、今までの未来の科学者育成プログラムを受講した第1回生～8回生の方が集まり、交流会を行います。講演会も予定です。12月下旬ごろ、詳細の案内がホームページに掲載される予定ですので、そちらをご覧ください。